

7 「ことば」の力を基盤とした、「総合的な学習の時間」の充実

(1) 「総合的な学習の時間」の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

(2) 指導計画の内容の取扱いについて特に留意すること

問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題解決しようとする学習活動や、**言語により分析し、まとめたり表現したりする**などの学習活動が行われるようにすること

(3) 「総合的な学習の時間」の目標達成に向けた、本校独自のとりくみ

「総合的な学習の時間」の目標達成に向けて、児童は、各教科等で身につけた力を総合的に活用し、課題を解決したり探究したりしていく。その際、思考・判断・表現する力として、児童一人一人に「ことばの力」が必要となる。具体的には、自分の考えをもって論理的に考える力、自分の考えやまとめたことを分かりやすく表現する力、収集したさまざまな情報を分析する力、情報を正しく伝える力である。

「総合的な学習の時間」の学習活動を、より活発に充実させるためには、全ての児童に「ことばの力」を育てなければならぬと考える。そのため、本校では、朝会タイムに「ことばの時間」を位置付け、全校体制で取組を継続してきている。

(4) 児童に育む「ことばの力」

次に示す「ことばの力」を育成するため、学年ごと1ヶ月に2度、朝会タイムに「ことばタイム」を設定している。

「ことばの力」=「言語技術」の習得

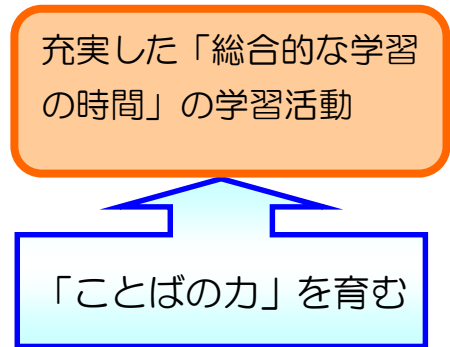
「言語技術」とは…情報を主体的に獲得し、自分の考えを組み立て、わかりやすく発信するための「聞く」「読む」「話す」「書く」に関する技術(スキル)。また、コミュニケーション能力を育むのに有効な技術。

言語技術の具体

自分の考えを相手によく
分かるように表現する力
(問答ゲームで育てる)

情報を正しく
伝える力
(説明・描写で育てる)

情報を的確に
分析する力
(絵の分析で育てる)



(5) 「ことばの力」を活用した本校「学びのスタイル」

学 習 場 面	学 習 場 面 の 具 体	必要となる「ことばの力」
課題設定	何を知っているか、何を知りたいか、どうすれば知ることが出来るか話し合う。	自分の考えを相手によく分かるように表現する力
情報の収集	様々な情報源にあたって、情報を聞き出したり、読み取ったりする。	情報を分析する力
整理・分析	集めた情報の意味を解釈し、必要な情報を取り出す。	情報を分析する力
まとめ・表現	わかったことや自分たちの意見を相手意識をもって、報告したり説明したり、質問に答えたりする。	情報を正しく伝える力

「学びのスタイル」

全体計画を、課題設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現という学びのスタイルに沿った単元構想とする。

また、各単元・各授業においても同様に、学びのスタイルに沿って高まっていくよう構成・実践する。

